

にのみやまちとしょかん 図書館だより

2007.9.15 発行
(奇数月 15 日発行)

第 29 号

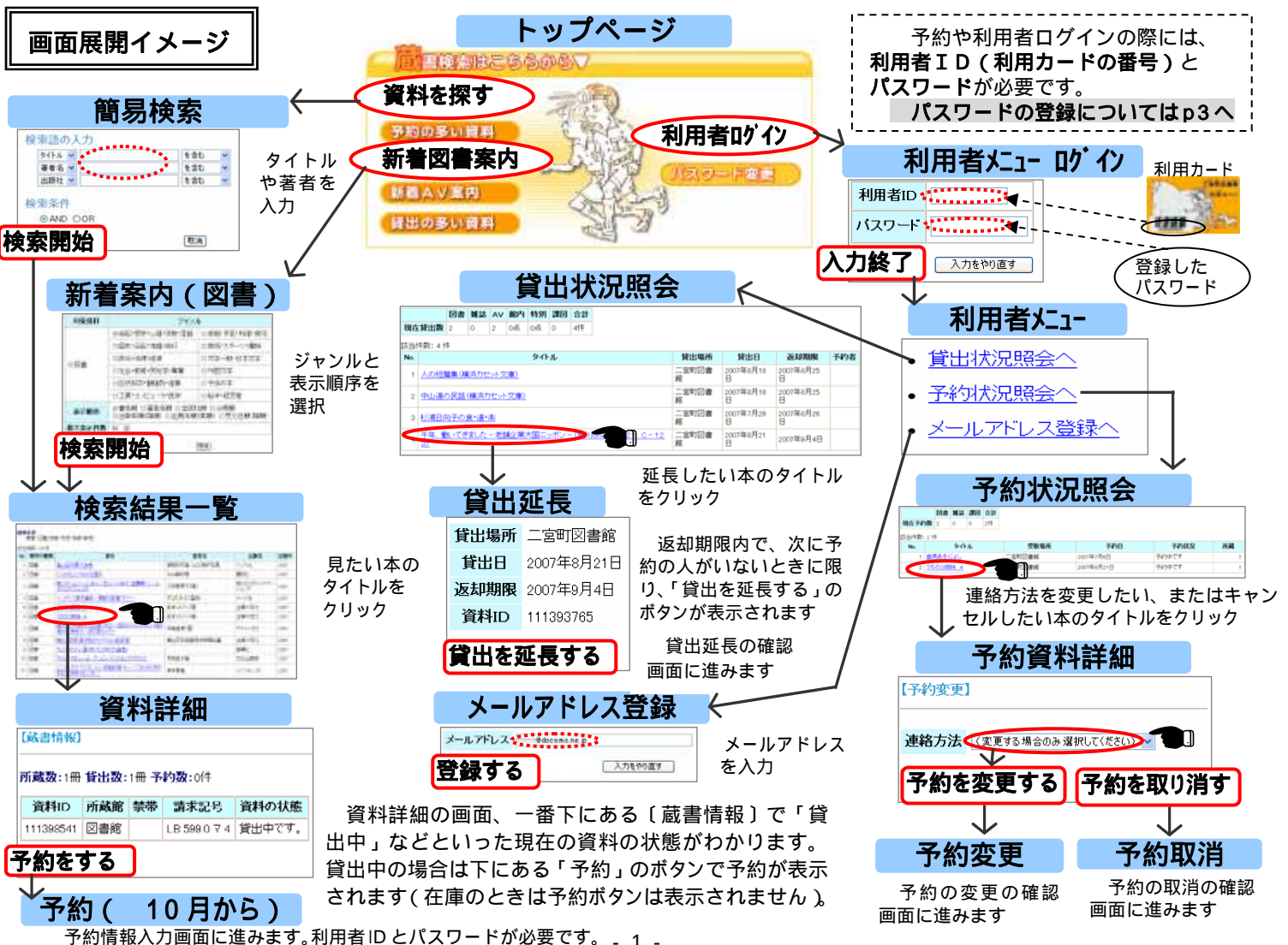


特集 図書館ホームページ活用法

二宮町図書館のホームページ、ご覧いただいていますか？今年の1月に開設して以来、8ヶ月間のアクセス数は約35,000件でした。図書館の基本的な利用案内や開館日の確認、蔵書の検索などで利用されている方が多いと思いますが、10月からはインターネット予約もできるようになり、さらに便利になります。

今回の特集では、ホームページからできることの基本的な内容を簡単に紹介します。

<p>こんなときには…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書評に出ていたこの本は図書館にあるかな？ ・どんな本が新しく図書館に入ったのかな？ ・あ、貸出中だ。予約をしたいな。 ・予約の連絡をメールでもらうようにしたいな。 ・今何冊借りてるっけ？返却日はいつだったっけ？ ・今借りている本を延長したいな。 ・この予約の本の連絡は、メールではなく電話でほしいな。 ・予約してた本、買っちゃったからキャンセルしたいな。 	<p>！ここからどうぞ！</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料を探す 新着図書案内 資料詳細 利用者ログイン () 貸出状況照会 () 貸出状況照会 () 予約状況照会 () 予約状況照会 	<ul style="list-style-type: none"> 簡易検索 検索結果一覧 予約 (10月から) 利用者メニュー (以下) メールアドレス登録 貸出資料詳細 延長 予約資料詳細 予約変更 予約資料詳細 予約取消
--	--	---



新しく入った本 CD DVD

2007年7～8月新着分より

(著編者 / 出版社 / 出版年月 / 請求記号)

本

画像なし

『日本でいちばん小さな出版社』

(佃由美子 / 晶文社 / '07.5 / 023.0 ヲ)

ひょんなことからある日突然、出版社になってしまった著者の奮闘記。難問にふりまわされながらも出版社として成長していく姿と、本を作る喜びが綴られています。

画像なし

『友だち100人できません - 無理しないで生きる・考える心理学 -』

(諸富祥彦 / アスペクト / '07.5 / 159 ㄱ)

常識を疑う力を持ち、とらわれずに人と関わる方法を、気鋭の心理学者が易しく解きました。前向きに生きない。恋なんて、いらぬ。みんなと逆を「ゆんらり」楽しんで。

画像なし

『画・文で描く祖父母が若かった頃 - 西相模の明治・大正・昭和 -』

(鷹野良宏 / 朝日新聞社 / '07.7 / 213.7 ヲ)

著者の鷹野氏は二宮町在住。主に南足柄市・秦野市・二宮町で取材した当時の様子や暮らしぶりや自身の体験などが書かれています。世代を超えて読み継ぎたい一冊です。

画像なし

『元気の源！日本の「発酵」食』

(プレジデント社 / '07.7 / 588.5 ケ)

日本の豊かな発酵食。本書はその製品や製法、料理法について情熱的に取材。発酵の不思議と魅力を伝えます。発酵は未来をつくるという研究者小泉武夫氏の談話も必読です。

画像なし

『雑草のはなし - 見つけ方、たのしみ方 -』

(田中修 / 中央公論新社 / '07.3 / 470.4 ヲ)

みなさんは雑草のことどのくらい知っていますか？この本は雑草の名前や由来、生きるための知恵など雑草にまつわる話が、季節ごとに写真と文章で紹介されています。

画像なし

『チップス先生の贈り物 - 英文学ゆかりの地を訪ねて -』

(長井那智子 / 春風社 / '07.5 / 930.2 ナ)

英文学60作品のゆかりの地を訪れた写真入りエッセイ集。表題は名作『チップス先生さようなら』から。懐かしい人に会いにゆくように、お気に入りの名作の章からどうぞ。

録音 CD

画像なし

『村治奏一ベスト・コレクション - ダンサ・ブラジレイラ -』

(村治奏一ギター / 41分 / 134 ㄱ)

25歳にして、すでに多数のコンクールで優勝しているギター奏者、村治奏一。収録曲はジャズやミュージカル映画からも選曲されています。精巧な演奏に、つい聴き入ってしまう1枚です。

画像なし

映像 DVD

(演奏者、出演者 / 収録時間 / 請求記号)

『オペラの怪人』

(アーサー・ルービン監督 / 93分 / 778.2 オ)

1943年作品。オペラシーンでの、スザンナ・フォスターの突き抜けるような高音には、ただ驚くばかり！ガストン・ルルーの原作も併せて楽しみたい、古典的な怪奇口マンズです。

展示テーブルから

9月の展示テーマ

鉄道

～二本のレールに思いを乗せて～

画像なし

今月の紹介本

『汽車旅放浪記』

(関川夏央 / 新潮社 / '06.6 / 910.2 ヲ)

ふう～ん

「大丈夫」の語源は？

鉄道は、日本人の心に新しさと懐かしさを運んでくれます。

今月の紹介本は『汽車旅放浪記』。明治の国鉄、満鉄、日本各地を巡るローカル線まで、読んで、乗って、調べて楽しい時間旅行の一冊です。漱石が、清張が、百間が、そして宮脇俊三が描き、人々に愛された鉄道路線の数々。著者は、多くのマニア的文士達が作品に表した場面をたどり、自身のマニアたるこだわりでそこに書き込まれた思いを一つ一つ検証し、その路線の歴史的背景をも示しています。

子どもの頃の鉄道への思い出から、各地の路線をあらためて旅をする著者。あとがきに「初老「鉄っちゃん」は可愛いかな？」と書いていますが、いつまでも「好き」を続けられること、それは幸せなことだと思います。

中国の周の時代、成人男性の身長は当時のものさしで「一丈」（180センチほど）とされており、一人前の男性を「丈夫」といった。その「丈夫」にすぐれた意味の「大」をつけ、心身ともにりっぱな男性を「大丈夫」といった。それが転じて、危なげがない、心配のない様子を意味するようになった。

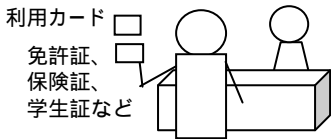
図書館発見 ⇨⇨⇨ パスワード登録

パスワードの登録はお済みですか？パスワードを登録すると、館内の検索端末はもちろん、ご自宅のパソコンからインターネットで以下の事ができて便利です。

- ・貸出状況照会 … 今何を借りているか、いつまでの返却期限かがわかります
- ・貸出延長 … 本・雑誌の返却期限の延長ができます
- ・本・雑誌の予約 (インターネット利用では2007年10月から)
… 貸出中の本や雑誌に予約をすることができます
- ・メールアドレス登録 … 予約の連絡をメールで受け取ることができます
- ・予約状況照会、予約取消、連絡方法の変更

パスワード登録のしかた (パスワードの登録は、利用登録されていることが前提となります)

利用カードと本人の住所
が確認できるものを提示
(1階カウンターで受付)



仮パスワードを
受け取る



館内の検索端末(または
自宅のパソコン)で自分の決
めたパスワードに変更



個人情報を守るために、パスワードの変更は定期的に行うようにしてください。

ベストオーダー
2007年7月～8月
この期間に予約が多かった本です

【一般書 ベスト10】

- 1 夜明けの街で / 東野圭吾
- 2 楽園 上・下 / 宮部みゆき
- 3 秘花 / 瀬戸内寂聴
- 4 反転 / 田中森一
- 5 カシオペアの丘で 上・下 / 重松清
- 6 女性の品格 / 坂東真理子
- 7 吉原手引草 / 松井今朝子
- 8 幻香 / 内田康夫
- 9 鈍感力 / 渡辺淳一
- 10 悪人 / 吉田修一

【児童書 ベスト5】

- 1 おじいちゃんのごらくごらく
- 2 ハリー・ポッターと謎のプリンス 上下
- 3 七草小屋のふしぎなわすれもの
- 4 両親をしつけよう!
- 5 ピトゥスの動物園

二宮ゆかりの人物

ふたみ としとき 二見 利節 (洋画家)

二見利節(本名利次)は、二宮出身の異才の洋画家で、ひたすら絵に取り組み生涯で2000点以上もの作品を残しています。

利節は1911年(明治44年)10月29日、中郡吾妻村(現在の二宮町)山西の二見家に七人兄弟の次男として横浜で生まれました。15歳で日本橋の洋紙の卸問屋岡本弥兵衛商店に就職しましたが、絵やピアノに夢中になり仕事に支障が出たことで解雇されてしまいます。その後、図案家の弟子や銀座界隈で似顔絵や看板描きの手伝いなどをしながら独学で絵を描き、銀座千疋屋で働いているときに恋人沢崎節子と知り合います。

1931年(昭和6年)昭和恐慌激化により東京での生活を中止し二宮に戻り、生活費を稼ぐため弟清と額縁作りやウサギの飼育をして金を工面しました。この頃から小田原在住の画家井上三綱に指導を仰ぎ、油絵の制作を続けました。二宮は落花生の産地のためキャンパスは南京袋で容易に作ることができました。翌年、恋人節子が病死し悲嘆にくれ、「節子」の一字を取り、画号を「利節(としとき)」と名乗るようになります。1933年23歳の時、春陽会展に初入選した「温かい部屋」が画家利節の出発点といえます。その後東京と二宮を往き来し二宮町の実家の納屋を改造したアトリエで制作活動を続け、県立園芸試験場に出かけて植物デッサンを重ねています。1939年には代表作となる「三人の女」を完成し、新文展(現日展)や春陽

会展などに展覧を続け、文展で連続特選となりました。1941年には結婚し二宮に新居を構えました。

戦後、戦地から戻った利節は、1948年に国画会に入会し、鳥海青児らと親交を持ちました。しかし1956年に炬燵からの出火で二宮のアトリエを全焼し、作品の大半を焼失してしまいます。

1959年、48歳の時に制作に没頭するため妻と協議離婚しました。その後精力的に制作を続けましたが「自分の絵はまだ完成していない」「一度描いた絵はもう二度と描けないのだ」という理由でまったく絵を売りませんでした。人並みの生活ができるようになったのは55歳以降、日動画廊の後援を得てからのことでした。

1974年乳癌と診断され、小田原市立病院に入退院を繰り返し、1976年(昭和51年)3月27日65歳で亡くなりました。

その後遺族から「オリンポスの丘」など遺作26点が二宮町へ寄贈されました。生前二宮町公民館の新築記念の際に寄贈された作品など、現在も何点かが二宮町社会福祉センターなどに飾られています。



『二見利節展 没後20年 - 内なるものへの眼差し -』

このコーナーでは、二宮にゆかりのある人物や文学作品等をご紹介します。ここで紹介された人物や作品関連の情報がありましたら、図書館までお寄せください。

参考資料 『二見利節展 没後20年 - 内なるものへの眼差し -』(平塚市美術館編/平塚市美術館/1996/NY 74)、『二宮町近代史話』(二宮町教育委員会編/二宮町教育委員会/1985/NG B6)

お知らせ・お願い

特別館内整理休館のお知らせ

9月25日(火)～10月1日(月)の7日間、蔵書点検のため休館します。休館前の貸出の際、返却期限に変更がありますので、ご確認ください。休館中は、利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願いします。

お願い 特別館内整理休館中の図書・AV資料の返却ポストへの返却はご遠慮ください。

8月から図書館2階の多目的トイレに、多目的シートを設置しました 新しい雑誌が入りました

「メンタルヘルスマガジン こころの元気+(plus)」
...月刊誌、2007年3月号(1号)～

雑誌の休刊のおしらせ

「俳句研究」(2007年9月号で休刊)

10月よりインターネットからの予約を開始します



多目的シート

利用者の声 Q&A

Q: 予約の連絡をもらいましたが、すぐに取りに行けないのですが…。

A: 取り置きは、連絡を受けてから一週間となります。期間中にご来館ください。連絡を受けてから一週間を過ぎるとキャンセル扱いとなりますのでご注意ください。

二宮町図書館講演会「ふるさとと私」を9月17日(月・祝)に開催します。詳しくは館内掲示をご覧ください。

行事

くわしくはお問い合わせください。

9月

10月

11月

休館日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

第2水曜日
(10月は第1水曜日)
ちいちゃいおはなし会

第3土曜日
おおきいおはなし会 小学生からおはなし会とおりがみあそび

第3金曜日
わらべうたであそぼう!

第4日曜日
雑誌のリサイクルコーナー

展示テーマ

8月 | 一般 / 『祝 世界SF大会「ニッポン 2007」』
児童 / 『課題図書&小・中学生にすすめたい本』
A V / 『怪談』

9月 | 一般 / 『鉄道 二本のレールに思いを乗せて』
児童 / 『北極・南極』

特設展示

7月・・・『第137回 芥川賞・直木賞発表』
『吉川翠風さん』『河合隼雄さん』

8月・・・『小田実さん』『阿久悠さん』
『服部まゆみさん』『西村寿行さん』
『北村けんじさん』(児童特設)

追悼展示

7～8月・・・『宿題(自由研究・作文等)』(児童特設)

地域資料コーナー 展示ケース

7～9月・・・『二宮ゆかりの人物 梅田晴夫』

10～12月・・・『二宮ゆかりの人物 阿川弘之』

書庫の本紹介コーナー

7～9月・・・『戦後30年のベストセラー小説』

10～12月・・・『青春小説 五木寛之、北杜夫、星新一、椎名誠』

ひとつだけ ～編集後記にかえて

2階のカウンターに座っていたら、なにやら真剣な顔つきの男子小学生が2人、小聲で話しながら向こうから歩いてきた。前を通り過ぎたときに聞こえた会話は、「ずるいことは、できないよな」「うん。ずるいことは、できない」。何の話題だったかはわからないけれど、大の大人がしてかす「ずるいこと」が発端のうんざりするニュースが多い昨今、「ずるいことはできない」と確認し合うランドセルの後ろ姿は、とてもまぶしく思えた。

編集・発行 二宮町図書館
住所 二宮町二宮1240-10
☎ 0463-72-6913
ホームページ <http://www.ninomiya-public-library.jp/>



図書館だよりテーブル版もあります！お問い合わせください。